



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

毛呂山町から 海洋プラスチックをなくそう！

環境アドバイザーの講演および河川清掃

2月20日、「毛呂山町から海洋プラスチックをなくそうの会」主催によりウィズもろやまで埼玉県環境アドバイザーである上領園子^{かみりょう}さんの講演が行われました。また、3月5日には西戸グラウンド周辺の越辺川でごみ拾いが行われました。50人ほどの皆さんが参加され、2時間ほどで350キログラム（可燃ごみ260キログラム、不燃ごみ90キログラム）ほどのごみが回収されました。



副町長に せきもとけんじ 関本建二氏が就任しました



令和4年第1回(3月)毛呂山町議会定例会において議会の同意を得て、4月1日付けで関本建二氏(60歳)が副町長に就任しました。これからの町政運営の心強い補佐役として、ご活躍いただきます。

(略歴)

昭和37年1月生まれ。昭和59年4月に埼玉県職員として採用。総務部学事課長、企画財政部改革推進課長、保健医療部副部長、病院局病院局長等を歴任。平成31年4月からは保健医療部長に就任し、新型コロナウイルス感染症対策に尽力されました。

今日は楽しいひなまつり♪

ゆずの里保育園 ひな祭り会

3月3日、ゆずの里保育園でひな祭り会が行われました。保育園には7段飾りのひな人形が飾られ、先生が子どもたちにひな祭りの由来のお話をしました。また、「うれしい ひなまつり」の歌をみんなで歌ったり、クラスで作成したひな人形を子どもたちが発表したりと楽しんでいました。



ひなさま とても大きなお雛様

歴史民俗資料館 享保雛^{きょうほひな}の展示

2月11日から3月13日に、歴史民俗資料館で江戸時代の享保年間に流行した「享保雛」と呼ばれる大型(約45センチメートル)の雛人形が展示されました。この人形は、毛呂本郷在住の人が所有されているもので、川越藩に仕えた女性が下賜された調度品として伝わっています。来館された皆さんは歴史的に貴重なお雛様を興味深そうに見学していました。



これからいっぱい食べて大きくなってね！

保健センターで育児・離乳食相談が行われました

3月9日、保健センターで、乳幼児のお子さんとその保護者を対象とした「育児・離乳食相談」が行われました。この日は、離乳食を食べさせ始めるにあたり、どのようなものから食べさせたらよいのか、また、離乳食の作り方などを管理栄養士が説明を行いました。次回は、6月16日（木）に開催予定（申込方法等は広報もろやま5月号に掲載予定）ですので、ぜひご参加ください！



スポーツによる地域活性化

総合型地域スポーツクラブ JAWS^{ジュアーズ}体験イベント

3月12日、大類グラウンドで総合型地域スポーツクラブ JAWS による体験会が行われました。JAWS は城西大学と毛呂山町の住民によるスポーツ文化の創造、地域の活性化を目的とした一般団法人です。当日は60人程の小中学生が集まり、大学生や町のスポーツ団体の皆さんと、かけっこ教室やソフトボール、モルックなどで汗を流しました。



4月1日から毛呂山町社会福祉協議会が移転しました

社会福祉協議会は福祉サービスの支援体制の整備・充実を図るため、旧デイサービスセンター施設に事務所を移転しました。募金やご寄附等、住民の皆さんにご協力をいただいている事業についても新事務所が窓口となります。また、令和4年度から新規事業として障害者等相談支援事業を実施します。障害児者およびその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供および障害福祉サービスの利用支援を中心に行う事業です。

所在地 毛呂山町川角303番地3（旧デイサービスセンター施設）

問合せ 毛呂山町社会福祉協議会 ☎295-0601 FAX295-0603

月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分（土日祝日、年末年始は休み）



困りごとの解決にアスポーツ相談支援センターをご利用ください

埼玉県社会福祉協議会が実施する生活困窮者自立支援事業こんきゆうしゃを行っているアスポーツ相談支援センターについても、合わせて新事務所に移転しました。

■主な事業

- ・生活の困りごと相談…どこに相談していいのかわからない、生活上の様々な困りごとの解決に相談者と一緒に取り組みます。
- ・就労支援…面接の準備や就職活動の支援等「働きたい」を応援します。
- ・家計相談…家計のやりくりができない、といった人に対して一緒に家計簿を付け、家計の立て直しをサポートします。また、借金の整理の仕方などについてアドバイスします。

問合せ アスポーツ相談支援センター ☎080-2274-1445 FAX295-0603

